

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容		時数														
教科名	理科	履修形態	選択必修	学科	普通科										学期	学 習 内 容		時数													
科目名	科学と人間生活	単位数	2	学年	1年	●								第 1 学 期	4月	第1部 第1章 ヒトの生命現象	1														
															5月	A タンパク質と遺伝子 B ヒトの視覚と光 C 血糖濃度の調節 D 免疫	2 2 2														
教科書・副教材・(発行所)																															
① 教科書：科学と人間生活703（啓林館） ② 副教材：科学と人間生活の学習ノート 書き込み式傍用問題集（啓林館） ③ ④																															
学 習 の 重 点 目 標																															
自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。																															
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度																						
評 価 の 趣 旨	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何ができているかを評価する。 ②小テスト 普段の学習の過程を通じた知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。				①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。 ②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を評価する。				①授業中の態度、発言や記述の内容 ②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合（すべての問題ができていないか、答え合わせややり直しなどができているかなど）。 ③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主体的に学ぼうとする姿勢があるか。																						
	評 価 の 基 準																														
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）																						
					B+		B-																								
知 ・ 技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本的な概念や原理・法則などを理解することができている。また、基本問題よりも高度な解決能力を要する問題にも対応できる。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な概念や原理・法則などをあまり理解することができている。																						
思 ・ 判 ・ 表	探求レポートやグループ活動に能動的に取り組む、自分の考えや意見を発表したり、適切に表現できる。				探求レポートやグループ活動に取り組む、ある程度自分の考えや意見を発表したり、表現できる。				探求レポートやグループ活動にあまり取り組むことができていない。																						
主 体 性 ・ 態 度	自然の事物・現象に主体的に関わりや見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。				自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることができる。				自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることがあまりできない。																						
	毎回の授業に真剣に取り組む、提出物の出来具合も非常に良い。また、授業での積極的な発言やグループ活動での振り返りが見られるなど主体的に学習に取り組む態度が見られる。				毎回の授業に真剣に取り組む、提出物も出しており満足できる内容である。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性ももう少し必要である。				毎回の授業に対する姿勢や態度があまり前向きでない。提出物の内容も不十分であり、取り組みが雑でやや熱心さに欠ける。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性ももう少し必要である。																						
														第 2 学 期	8月	第2部 第1章 材料とその利用	3														
														9月	B 金属 C セラミック D 資源の再利用 第2部 第2章 衣料と食品 A 衣料の科学 【中間考査】	3 3 3 3 1															
														10月	第2部 第2章 衣料と食品	3															
														11月	B 食品の科学 第3部 第1章 光の性質とその利用 A 光の進み方 B 光の波としての利用 C 電磁波とその利用 【期末考査】	3 4 2 1															
														第 3 学 期	12月	第2部 第2章 熱の性質とその利用	2														
														1月	A 熱とは何か B エネルギーの利用 第4部 第1章 太陽と地球 A 身近な天体～太陽と月～ B 潮の満ち引き C 太陽放射と地球	3 2 2 2															
														2月	第4部 第1章 太陽と地球	2															
														3月	D 大気の運動 第4部 第2章 自然景観と自然災害 A 河川のはたらきによる景観と災害 B 地震による景観と災害 C 火山による景観と災害 【期末考査】	2 3 2 1															
総 時 間 数																												66			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	理科	履修形態	必修	学科	普通科													
科目名	物理基礎	単位数	2	学年	1年		●	●							第 1 学期	第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動 第1節 速度 第2節 加速度	3 3	
教科書・副教材・(発行所)																		
①教科書：物理基礎（啓林館 物基705） ②問題集：センサー物理基礎 ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
①日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。 ②家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																		
知識・技能		思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度												
評 価 の 趣 旨	①定期考査の出来具合 問題集の内容を中心に作問		①課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 配信課題・問題集				第 2 学期							
	②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について10分間小テストを実施		②グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についてのグループ活動を実施				③自己評価・振り返り 配信課題や考査後に自己評価や振り返りを実施											
評 価 の 基 準																		
A (十分満足できる状況)		B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)												
		B+		B-														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。		定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。											
	思・判・表		探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現できている。		探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現できている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。		第 3 学期									
応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。		応用的な問題にあまり取り組むことができていない。													
主 体 性 ・ 態 度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。		真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				第 1 学期							
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。		振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
総 時 間 数																		
																	60	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	理科	履修形態	必修	学科	普通科											学 習 内 容	時数	
科目名	生物基礎	単位数	2	学年	1年		●	●							第1学期	4月	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 1節 生物の多様性 2節 生物の共通性 3節 細胞の特徴	1 1 2
教科書・副教材・(発行所)																5月	〈中間考査〉	1
① 教科書：生物基礎701（東京書籍） ② 副教材：ニューグローバル生物基礎（生物基礎） ③ ④																6月	2章 生物とエネルギー 1節 生体とATP 2節 生体内の化学反応 3節 呼吸と光合成	2 2 3
学 習 の 重 点 目 標																7月	2編 遺伝子とのはたらき 1章 遺伝情報とDNA 〈期末考査〉	2 1
生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。															評 価 の 基 準			
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第2学期		8月	2節 DNAの構造 3節 DNAの複製と分配 2章 遺伝情報とタンパク質 1節 タンパク質 2節 DNAとタンパク質の合成 3節 細胞分化と遺伝子 〈中間考査〉	2 1 2 2				
	①定期考査 副教材の問題を中心に作問し、何を理解しているか、何が出来るかを評価する。 ②小テスト 普段の学習の過程を通じた知識及び習得状況について評価を行う。15分～20分程度。			①レポートの作成・提出 単元ごとに探求レポートを実施する。 ②グループでの話し合い・発表・相互評価 単元ごとにグループ活動を実施する。 ①、②を通して知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を評価する。			①授業中の態度、発言や記述の内容 ②提出物の内容 プリントや副教材の問題集の出来具合（すべての問題ができていないか、答え合わせややり直しなどができているかなど）。 ③振り返り・自己評価 定期考査や小テスト、グループ活動後に自己の学習を自己評価してより主体的に学ぼうとする姿勢があるか。					10月	3編 ヒトの体の調節 1章 体内環境と情報伝達 1節 体内環境 2節 神経系による情報伝達 3節 ホルモンによる情報伝達 4節 血糖濃度の調節	5 6				
A（十分満足できる状況）		B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）		第3学期		11月	2章 免疫のはたらき 1節 免疫のしくみ 2節 免疫記憶 〈期末考査〉	5 1								
		B+		B-				12月	3節 免疫とさまざまな疾患 4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移 1節 植生とその環境 2節 植生の遷移 3節 遷移とバイオーム	1 2 2 3								
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本的な概念や原理・法則などを理解することができている。また、基本問題よりも高度な解決能力を要する問題にも対応できる。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			2月		2月	2章 生態系と生物の多様性 1節 生態系における生物の多様性 2節 生態系における生物間の関係 3節 生態系と攪乱 4節 生態系の保全 〈期末考査〉	3 2 2 2				
思・判・表	探求レポートやグループ活動に能動的に取り組む、自分の考えや意見を発表したり、適切に表現できる。			探求レポートやグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えや意見を発表したり、表現できる。			探求レポートやグループ活動にあまり取り組むことができていない。					3月	〈期末考査〉	1				
主体性・態度	自然の事物・現象に主体的に関わりや見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。			自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることができる。			自然の事物・現象に関わりや見通しをもったり振り返ったりすることがあまりできない。			総 時 間 数		57						
	毎回の授業に真剣に取り組む、提出物の出来具合も非常に良い。また、授業での積極的な発言やグループ活動での振り返りが見られるなど主体的に学習に取り組む態度が見られる。			毎回の授業に真剣に取り組む、提出物も出しており満足できる内容である。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性がもう少し必要である。			毎回の授業に対する姿勢や態度があまり前向きでない。提出物の内容も不十分であり、取り組みが雑でやや熱心さに欠ける。授業での発言やグループ活動へ臨む姿勢の積極性がもう少し必要である。											

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	国語	履修形態	必修	学科	普通科												
科目名	現代の国語	単位数	2	学年	1年	●									第1学期	1 自己を見つめる 「こそそめスープ」	5
教科書・副教材・(発行所)																★中間考査	1
① 教科書：新編現代の国語（東京書籍） ② 副教材：新編現代の国語 学習課題ノート（東京書籍） ③ 副教材：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④															第2学期	1 自己を見つめる 「ルリボシカミキリの青」	5
学 習 の 重 点 目 標																2 他者に出会う 「水の東西」 評論の読み方	4
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。															★期末考査	1	
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第3学期	3 言葉と生活1 分かりやすい説明をしよう	2					
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施			①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施				4 視野を広げる 「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」 「無彩の色」	6					
	評 価 の 基 準															★中間考査	1
	A（十分満足できる状況）			B（概ね満足できる状況）			C（努力を要する状況）			第4学期	5 社会と関わる 「鍋洗いの日々」 「森で染める人」	5					
				B+		B-					6 言葉と生活2 新聞記事を読んで意見文を書こう	4					
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。			★期末考査	1					
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。			第5学期	7 世界とつながる 「美しさの発見」 8 未来に目を向ける 「不思議な拍手」	6					
主体性・態度	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。				8 未来に目を向ける 「真の自立とは」	5					
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			第6学期	★期末考査	1					
主体性・態度	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。				総 時 間 数	64					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	国語	履修形態	必修	学科	普通科											学 期	学 習 内 容	
科目名	現代の国語	単位数	2	学年	1年		●								第1学期	1 自己を見つめる 「こそめスープ」	6	
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：新編現代の国語（東京書籍） ② 副教材：新編現代の国語 学習課題ノート（東京書籍） ③ 副教材：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版） ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるよ																		
評価の趣旨	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第2学期	3 言葉と生活 1 わかりやすい説明をしよう		2						
	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施		①学習課題ノート・課題プリント 単元ごとに学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施				4 視野を広げる 「スキマが育む都市と緑の生命のつながり」 「無彩の色」		6 5						
評 価 の 基 準																		
A (十分満足できる状況) B (概ね満足できる状況) C (努力を要する状況)																		
B+ B- C																		
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができる。		定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。		5 社会と関わる 「鍋洗いの日々」 「森で染める人」		5 5					
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。		探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			6 言葉と生活 2 新聞記事を読んで意見文を書こう		3							
★期末考査																		
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。		真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			7 世界とつながる 「美しさの発見」		4							
★期末考査																		
漢字の学習																		
第3学期																		
2月～3月																		
★期末考査																		
漢字の学習																		
60																		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	国語	履修形態	必修	学科	普通科													
科目名	現代の国語	単位数	2	学年	1年			●							第1学期	1 自己を見つめる 「こそそめスープ」	7	
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：新編現代の国語（東京書籍）																		
② 副教材：新編現代の国語 学習課題ノート（東京書籍）																		
③ 副教材：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）																		
④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。特に実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。																		
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度									
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問				①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施				①授業中の態度や意欲				第2学期	3 言葉と生活1 分かりやすい説明をしよう	2			
	②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施				②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施				②提出物の内容 プリント・副教材							4 視野を広げる 「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」 「無彩の色」	5 4	
評 価 の 基 準																		
	A（十分満足できる状況）				B（概ね満足できる状況）				C（努力を要する状況）									
					B+		B-											
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで概ね理解できている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				第3学期	5 社会と関わる 「鍋洗いの日々」 「森で染める人」	5 5			
									6 言葉と生活2 新聞記事を読んで意見文を書こう							4 1		
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり組むことができていない。				第3学期	7 世界とつながる 「美しさの発見」	4			
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。							8 未来に目を向ける 「不思議な拍手」	4	
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。				第3学期	8 未来に目を向ける 「真の自立とは」	5			
	振り返るべき内容を的確に捉えて表現することができ、次の取り組みに活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。							★期末考査	1	
総 時 間 数																		60

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数								
教科名	国語	履修形態	必修	学科	普通科											学 期	学 習 内 容		時数							
科目名	言語文化	単位数	2	学年	1年	●									第1学期	4月 5月	・(随想) さくらさくらさくら (俵万智)	6								
教科書・副教材・(発行所)																										
① 新編言語文化 (東京書籍)																										
② 新編言語文化 学習課題ノート																										
③ 常用漢字ダブルクリア 四訂版 (尚文出版)																										
④																										
学 習 の 重 点 目 標																										
・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。生涯にわたり社会生活に必要な国語の知識や技術を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																										
知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度						第2学期	8月 9月	・(詩) 冬が来た (高村光太郎) 他 ・(古文) 徒然草 ・(漢文) 故事成語	4 4 5									
評価の趣旨				①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来 授業で学習した内容・漢字についての小テストを実施				①学習課題ノート・課題プリント 単元毎に学習課題ノート・課題プリントを実施 ②意見発表の内容 学習活動の中で、考えを深め意見を発表する活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施				・中間考査		1								
																評 価 の 基 準										
A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)						第3学期	10月 11月	・(小説) 羅生門 ・(古文) 枕草子	9 4									
知・技				B+		B-		定期考査と小テストで80点以上の得点である。				定期考査と小テストで55点~79点の得点である。				定期考査と小テストで30点~54点の得点である。				定期考査と小テストで29点以下の得点である。				・期末考査		1
				思・判・表																				知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるように的確に表現することができる。		
主体性・態度								レポート作成やグループワーク、意見発表を通して、的確に批評、論述、発表、討論、批評などをすることができている。				レポート作成やグループワーク、意見発表において、論述、発表、討論、批評などをすることが概ねできている。				レポート作成グループワーク、意見発表において、論述、発表、討論、批評などをすることがあまりできていない。				・(小説) デューク (江國香織) ・(詩歌) 柳あをめる (短歌) 雪の深さを (俳句)		6 4				
				常に粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。																真面目に学習に取り組んでいるが、積極性を要する部分がある。				主体的に学習に取り組むことがあまりできていない。		
振り返るべき内容を考えて表現し、次の取り組みに活かして自己を向上させることが継続的にできている。								振り返るべき内容を考えて表現し、次の取り組みに活かすことが概ねできている。				振り返るべき内容を考えたり表現したりすることだできておらず、自己を向上させる姿勢が見られない。				・期末考査		1								
				総 時 間 数																60						

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数				
教科名	国語	履修形態	必修	学科	普通科															
科目名	言語文化	単位数	2	学年	1年		●							第1学期	(現) 1. 随筆 さくらさくらさくら ○「花」といえば「桜」?	4 3				
教科書・副教材・(発行所)															第2学期	【中間考査】	1			
学 習 の 重 点 目 標																第3学期	(古) 1. 古文入門 古文に親しむ 児のそら寝 古文学習のしるべ1・2・3 古文の窓1	1 2 6 1		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。すなわち、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。そして、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。																	【期末考査】	1		
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度				第2学期	(古) 2. 随筆 枕草子 古文学習のしるべ4 (漢) 1. 漢文入門 訓読の基本 ○漢字の読みと意味 【中間考査】	3 5 4 1							
	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について 小テストを実施			①課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを 実施 ②グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についての グループ活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や 振り返りを実施					(漢) 1. 漢文入門 故事成語～三編 (現) 2. 小説 とんかつ 【期末考査】	7 7 1							
評 価 の 基 準																				
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)				第3学期	(漢) 2. 漢詩 絶句と律詩～七首 (現) 3. 詩歌 柳あをめる【短歌】・雪の深さを【俳句】 I was born 【期末考査】	4 4 1							
知・技			B+		B-		主体的に学習に取り組む態度					総 時 間 数		64						
			定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まできちんと理解することができている。		定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。						定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。							
思・判・表			自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができている。				自分の知識や体験を基に、表現したいことをなかなか明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。				第3学期		2月～3月		【期末考査】		総 時 間 数		64	
			文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通して的確に批評や討論、論述、発表することができている。				文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえての読み比べや調べ学習、外国語に訳す活動を通して、批評や討論、論述、発表することがあまりできていない。													
主体性・態度			計画的に予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				第3学期		2月～3月		【期末考査】		総 時 間 数		64	
			振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かすことができていない。													

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C D	進 学	特 進	進 文	進 理	特 文	特 理	看 護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	国語	履修形態	必修	学科	普通科												
科目名	言語文化	単位数	3	学年	1年			●						第1学期	4月	(現) 1. 随筆 さくらさくらさくら ○「花」といえば「桜」?	5 3
教科書・副教材・(発行所)												5月	(古) 1. 古文入門 古文に親しむ		2		
① 教科書：新編言語文化（東京書籍） ② 問題集：新編言語文化 学習課題ノート（東京書籍） 問題集：常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文） ③ 参考書：必携これからの古典文法〔改訂版〕（尚文出版） 問題集：必携古典文法練習ノート（尚文） ④ 参考書：必携新明説漢文（尚文出版） 問題集：必携新明説漢文ノート（尚文出版）												【中間考査】	1				
学 習 の 重 点 目 標												6月	(古) 1. 古文入門 児のそら寝 用光と白波 古文学習のしるべ1・2・3		2 2 7		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。すなわち、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技術を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。そして、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。												7月	古文の窓1	3			
評 価 の 趣 旨	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について 小テストを実施		①課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についての グループ活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や 振り返りを実施			第2学期								
評 価 の 基 準																	
A（十分満足できる状況）		B（概ね満足できる状況）		C（努力を要する状況）													
		B+		B-													
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まできちんと理解することができている。		定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、表現の仕方を工夫することができている。		自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にし、自分の体験や思いが伝わるよう、ある程度表現の仕方を工夫することができている。		自分の知識や体験を基に、表現したいことを明確にできず、自分の体験や思いが伝わるような表現の仕方をあまり工夫することができていない。		第3学期										
主 体 性 ・ 態 度	文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通して的確に批評や討論、論述、発表することができている。		文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえ、読み比べや調べ学習をしたり、外国語に訳したりする活動を通してある程度批評や討論、論述、発表することができている。		文章の種類、作品の内容や解釈、成立背景・他作品との関係を踏まえての読み比べや調べ学習、外国語に訳す活動を通して、批評や討論、論述、発表することがあまりできていない。								12月				
		計画的に予習・復習をして粘り強く学習に取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができている。		真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組むことができていない。		1月									
		振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかりと活かすことができている。		振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かすことができていない。		振り返るべき内容をあまり考えることができていない。								2月			
								3月									
														(漢) 2. 漢詩 絶句と律詩～七首 漢文の窓2～漢詩の形式ときまり (現) 3. 詩歌 柳あをめる【短歌】・雪の深さを【俳句】 I was born 【期末考査】			
								総 時 間 数									

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数	
教科名	地理歴史	履修形態	必修	学科	普通科											学習内容	時数		
科目名	歴史総合	単位数	2	学年	1年	●									第1学期	4月	第1部 近代化と私たち 1 18世紀の世界とアジア 2 産業革命 3 アヘン戦争と日本 4 日本の開国 5 日本開国期の国際情勢 6 開国後の日本社会 7 市民革命と国民統合 8 明治維新	3 2 2 2	
教科書・副教材・(発行所)																5月	7 市民革命と国民統合 8 明治維新	2	
① 歴史総合 わたしたちの歴史 日本から世界へ (山川出版)																第2学期	6月	9 富国強兵と文明開化 10 日本明治初期の外交 11 大日本帝国憲法の制定 12 日本の産業革命と 13 帝国主義 14 日露戦争と韓国併合	2 2 3
②																	7月	第2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1 大衆運動の芽ばえ 2 第一次世界大戦	3
③																第3学期	8月	3 第一次世界大戦と日本 4 ロシア革命とその影響 5 社会運動の広がり 6 国際協調 7 アジアの民族運動 8 大量生産・大量消費社会 9 世界恐慌 10 独裁勢力の台頭	2 2 2 2
④																	9月	11 日本のアジア侵出 12 第二次世界大戦	2
学 習 の 重 点 目 標																10月	13 第二次世界大戦と日本 14 第二次世界大戦の 15 戦後国際秩序 16 冷戦の始まり 17 日本の戦後改革と日本国憲法 18 日本の独立	2 2 3	
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																11月	第3部 グローバル化と私たち 1 第三世界の登場 2 冷戦の固定化と「雪どけ」	3	
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度						期末考査		1					
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・授業プリントの内容より出題 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施			①課題・レポートの内容 各单元ごとに課題やレポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 課題・レポート・授業プリントなど ③自己評価・振り返り 各单元・考査後に自己評価や振り返りを実施						12月		3 冷戦の展開 4 55年体制と安保闘争 5 高度経済成長 6 ベトナム戦争とアメリカ 7 経済構造の変化 8 日本の経済大国化 9 アジアの経済成長 10 社会主義の停滞と新自由 11 冷戦の終結 12 冷戦後の地域紛争	2 2 2 2			
	評 価 の 基 準																第3学期	2月	13 地域統合 14 現代世界の諸課題 15 日本の諸課題
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)						期末考査		1					
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が79～55点である。			定期考査と小テストの合計得点が54～30点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。						総 時 間 数		63	
	思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。						総 時 間 数		63			
主体性・態度		各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。			各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。						総 時 間 数		63			
	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。						総 時 間 数		63				
振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かせていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。						総 時 間 数		63					

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	科目名	履修形態	必修	学科	普通科											学 習 内 容	時数			
地理歴史	歴史総合		2	1年		●	●								第1学期	第1部 近代化と私たち 第1章 結びつく世界				
																4月	1 アジア諸地域の繁栄と日本	1		
																4月	2 ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	2		
教科書・副教材・(発行所)																				
① 歴史総合 近代から現代へ (山川出版)																				
②																				
③																				
④																				
学 習 の 重 点 目 標																				
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。																				
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度														
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・授業プリントの内容より出題 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施			①課題・レポートの内容 各單元ごとに課題やレポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 課題・レポート・授業プリントなど ③自己評価・振り返り 各單元・考査後に自己評価や振り返りを実施													
	評 価 の 基 準																			
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)														
			B+			B-														
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が79～55点である。			定期考査と小テストの合計得点が54～30点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。													
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
知・技	各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。			各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。													
第2学期																				
															第2学期	第4章 帝国主義の展開とアジア 1 条約改正と日清戦争	1			
																8月	2 日本の産業革命と教育の普及	1		
																8月	3 帝国主義と列強の展開 4 世界分割と列強の対立	2		
																9月	5 日露戦争とその影響	1		
																9月	第II部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と	1		
																9月	1 第一次世界大戦とロシア革命	1		
																9月	中間考査	1		
																10月	2 国際平和と安全保障 3 アジア・アフリカ地域の	3		
																10月	4 大衆社会と市民生活の変容 5 社会・労働運動の進展と大衆の政治参	3		
																10月	第6章 経済危機と第二次世界大戦 1 世界恐慌の発生と各	1		
															11月	2 ファシズムの台頭 3 日本の恐慌と満州事変	3			
															11月	4 日中戦争と国内外の動き 5 第二次世界大戦と太	3			
															11月	第7章 戦後の国際秩序と日本の改革 1 新たな国際秩序と冷戦の	1			
															11月	期末考査	1			
第3学期																				
															第3学期	2 アジア諸地域の独立 3 占領下の日本と民主化	2			
																12月	4 占領政策の転換と日本の独立	1		
																12月	第III部 グローバル化と私たち 第8章 冷戦と世界経済			
																1月	1 集団防衛体制と核開発 2 米ソ両大国と平和共存	2		
																1月	3 西ヨーロッパの経済復興 4 第三世界の連携と試	2		
																1月	5 55年体制の成立 6 日本の高度経済成長	2		
																1月	7 核戦争の恐怖から軍縮へ 8 冷戦構造のゆらぎ	2		
																2月	9 世界経済の転換 10 アジア諸地域の経済発展と	2		
																2月	第9章 グローバル化する世界 1 冷戦の終結と国際情	1		
																2月	2 ソ連の崩壊と経済のグローバル化 3 開発途上国の民主化と独裁政権	2		
															3月	4 地域紛争の激化 5 国際社会のなかの日本	2			
															3月	第10章				
															3月	1 現代世界の諸課題 2 現代日本の諸課題	6			
															3月	期末考査	1			
総 時 間 数																				
																64				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	公民		履修形態	必修	学科	普通科	D	学	進	進	文	文	理	護	第1学期 4月 5月	第1部 公共の扉 第1章 社会を作る私たち		
科目名	公共		単位数	2	学年	1年	●											
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：公共(実教出版) ② ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
視野を社会全体に広げ、現代の諸課題を認識してそれを解決する方策について考える。 グローバル化する国際社会において主体的に生きる姿勢を養い、平和で民主的な国家および社会の中で役割を果たせる人間として必要な資質や能力を育む。																		
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書の内容に関する理解度を問う問題が中心			単元の内容に応じて理解度をチェックするためあるいは思考を深めるための発問をする、または発表を求める。その内容で評価。			①授業中の意欲や態度(教科書音読も含む) ②プリントなどの提出物の内容			第2学期 8月 9月								
	②小テストの出来具合 内容理解の上で必要に応じて実施																	
評 価 の 基 準																		
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)												
			B+			B-												
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解できている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30から54点である。			定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。								
思・判・表	探求的な課題に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現できる。			探求的な課題において、ある程度自分の考えを述べたり表現することが出来る。			探求的な課題にあまり取り組むことが出来ない。			第3学期 12月 1月								
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な応用力や的確な判断力を身に付けている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が見ついている。			応用的な問題にあまり取り組むことが出来ない。											
主体性・態度	予習・復習をきちんと行い、また授業中も積極的に発言できる。			まじめに学習に取り組んでいるが、受け身である。			あまり前向きな態度や意欲が見られない。			第3学期 2月 3月								
	提出物の中で自分の考えや学習の評価をしっかりと述べている。			提出物はきちんと出すが、内容に特筆すべきところがない。			提出物を出していない、または内容が不備である。											
総 時 間 数																0		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数
教科名	公民	履修形態	必修	学科	普通科												
科目名	公共	単位数	2	学年	1年		●	●							第1学期	第1部第1章 ①青年期とは ②自己形成の課題(1) ③自己形成の課題(2)	1 1 1
教科書・副教材・(発行所)																	
①教科書：公共(実教出版) ② ③ ④																	
学 習 の 重 点 目 標																	
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。また、現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。さらに、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを																	
知識・技能			思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度						第2学期	第2部第1章①日本国憲法の成立 ②日本国憲法の基本原則 ③自由に生きる権利 ④平等に生きる権利 ⑤社会権と参政権・請求権 ⑥新しい人権 ⑦人権の広がり と 公共の福祉 第2章①政治機構と国会 ②行政権と行政機能の拡大 ③公正な裁判の保障 ④地方自治と住民福祉 ⑤政党政治 ★中間考査	2 2 2 2 2 2 1		
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・授業プリントの内容より出題 ②小テストの出来具合 学習した内容について小テストを実施		①課題・レポートの内容 各單元ごとに課題やレポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探究課題についてグループ活動を実施				①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 課題・レポート・授業プリントなど ③自己評価・振り返り 各單元・考査後に自己評価や振り返りを実施										
	評 価 の 基 準																
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)						第3学期	⑥選挙制度 ⑦世論と政治参加 経済第1章①経済主体と経済活動の意義 ②経済社会の発展 ③市場のしくみ ④市場の失敗 ⑤現代の企業 ⑥国民所得 ⑦経済成長と国民の福祉 ⑧金融の役割 ⑨日本銀行の役割 ⑩財政の役割と租税 ★期末考査	2 2 2 2 2 2 1		
知・技			B+		B-												
定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表			B+				B-						第3学期	⑪日本の財政の課題 第2章①戦後日本経済の成長と課題 ②転機に立つ日本経済 ③経済社会の変化と中小企業 ④農業と食糧問題 ⑤消費者問題 ⑥公害の防止と環境保全 ⑦労働問題と労働者の権利	2 1 1 1 1 1 1		
探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。										
主体性・態度			B+				B-						第3学期	⑧こんにちの労働問題 ⑨社会保障の役割 ⑩社会保障制度の課題 ★期末考査	1 1 1 1		
各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力を身に付けることができている。			各授業時間で学んだ内容について、ある程度多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断する力が身に付いてきている。				各授業時間で学んだ内容について、多面的な視点を持ち、論理的に考え、判断することがあまりできていない。										
予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。										
振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。										
総 時 間 数																57	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学	履修形態	必修	学科	普通科											学期	学 習 内 容	
科目名	数学 I	単位数	4	学年	1年	●									第 1 学期	4月	第1章 数と式 第1節 整式 第2節 実数	8 7
教科書・副教材・(発行所)																5月	中間考査	1
① 教科書：高校数学 I (実教出版 数 I 708) ② 問題集：ステップノート数学 I 新課程版 (実教出版) ③ ④																6月	第3節 1次不等式	7
学 習 の 重 点 目 標																6月	第2章 集合と命題 第1節 集合と命題	10
1 数と式, 2次関数において, 数学における基本的な概念や原理・法則を理解し, 数学の基本的な計算の表現・処理したりする技能を身に付ける。 2 2次関数, 図形と計量及びデータの分析について, 数学を活用して事象を論理的に考察する力, 事象の本質や他の事象との関係を考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 3 図形と計量及びデータの分析について, 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。															7月	期末考査	1	
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第 2 学期	8月	第3章 2次関数 第1節 関数とグラフ 第2節 2次関数の最大・最小	10 10					
	1. 中間・期末考査にて測る 2. 単元ごとに小テストを実施			1. 単元ごとの課題レポートにて測る 2. 授業中にてグループ活動での振り返り用紙にて測る			1. 授業中の様子 2. 提出物の提出率とその内容 3. グループ活動での振り返り用紙の内容				9月	中間考査	1					
評 価 の 基 準															第 3 学期	10月	第3章 2次関数 第3節 2次関数と方程式・不等式	12
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)			11月	第3章 図形と計量 第1節 鋭角の三角比	8							
知・技	中間・期末考査と単元ごとの小テストを100点満点に換算した合計得点が80点以上である。基本から応用まで知識と技能が習得できている。			中間・期末考査と小テストの合計得点が55~79点である。			中間・期末考査と小テストの合計得点が30~54点である。			中間・期末考査と小テストの合計得点が30点未満である。基本的な知識や技能が習得できていない。			12月	期末考査	1			
	思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。			12月	第3章 図形と計量 第2節 鈍角の三角比 第3節 図形の計量	8 8					
応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。			1月									
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。			2月	第5章 データの分析 第1節 データの整理と分析 第2節 データの相関 第3節 統計的な見方	5 6 6						
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。			3月	★期末考査	1						
総 時 間 数															110			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学	履修形態	必修	学科	普通科											学 習 内 容	時数	
科目名	数学 I	単位数	3	学年	1年		●								第 1 学期	4月	第1章 数と式 第1節 多項式 第2節 実数	4 6
教科書・副教材・(発行所)																5月	中間考査	1
① 教科書：深進数学 I (啓林館：数 I 711) ② 問題集：深進準拠問題集 Grasp I+A ③ ④																6月	第1章 数と式 第3節 1次不等式	4
学 習 の 重 点 目 標																7月	第2章 2次関数 第1節 関数とグラフ 第2節 2次関数の最大・最小 期末考査	4 6 1
1 数と式, 2次関数において, 数学における基本的な概念や原理・法則を理解し, 数学の基本的な計算の表現・処理したりする技能を身に付ける。 2 2次関数, 図形と計量及びデータの分析について, 数学を活用して事象を論理的に考察する力, 事象の本質や他の事象との関係を考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 3 図形と計量及びデータの分析について, 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。															第 2 学期	8月	第2章 2次関数 第3節 2次関数と方程式不等式 第3章 集合と命題 第1節 集合 第2節 命題と証明	10 10
評 価 の 趣 旨																9月	中間考査	1
評 価 の 基 準																10月	第4章 図形と計量 第1節 鋭角の三角比 第2節 三角比の拡張 第3節 正弦定理と余弦定理	5 5 8
知識・技能															第 3 学期	11月	期末考査	1
思考・判断・表現																12月	第4章 図形と計量 第4節 図形の計量	6
主体的に学習に取り組む態度															1月	第5章 データの分析 第1節 データの整理と分析 第2節 統計的探求プロセス	6 7	
知・技															2月	期末考査	1	
思・判・表															3月			
主体性・態度															総 時 間 数		86	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	科目名	履修形態	単位数	学科	学年											学 習 内 容		
数学	数学 I	必修	3	普通科	1年			●							第 1 学期	第 1 章 数と式 第 1 節 多項式 第 2 節 実数 第 3 節 1次不等式	3 3 4	
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：数学 I (啓林館：数 I 709)																		
② 問題集：アドバンスα 数学 I + A																		
③ 参考書：Focus Gold 5th Edition																		
④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
① 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。																		
② 家庭学習をする習慣を身に付け、自己の学習方法を改善・調整しようとする姿勢を身に付ける。																		
知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度										
評価の趣旨	① 定期考査の出来具合 教科書や教科書準拠の問題集の内容を中心に作問				① 課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施				① 授業中の態度や意欲									
	② 小テストの出来具合 教科書で学習した内容について小テストを実施				② グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についてのグループ活動を実施				② 提出物の内容 配信課題・問題集									
								③ 自己評価・振り返り 課題や考査後に自己評価や振り返りを実施										
評 価 の 基 準																		
A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)										
				B+		B-												
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。									
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することができている。				探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。									
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができている。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。									
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。									
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。									
総 時 間 数																		
																92		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	数学	履修形態	必修	学科	普通科											学 習 内 容		
科目名	数学A	単位数	2	学年	1年		●								第1学期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 問題演習	4 2	
教科書・副教材・(発行所)																5月	【中間考査】	1
① 教科書 深進数学A (啓林館) ② 問題集 深進準拠問題集 演習思考編 Grasp数学I+A (啓林館) ③ ④																	6月 7月	第2節 順列・組合せ 第3節 確率とその基本性質 問題演習
学 習 の 重 点 目 標																【期末考査】		1
場合の数と確率, 図形の性質について, 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また, 数学と人間の活動の関係について認識を深め, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。数学と人間の活動との関わりに着目し, 数学を活用して事象を論理的に考察したり, 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察したり, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したりすることができる。数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。															評 価 の 基 準			
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			第2学期	8月 9月	第4節 いろいろな確率 第5節 期待値 第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質 問題演習 【中間考査】	5 2 6 2 1					
	①定期考査の出来具合 副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について10分間小テストを実施			①課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についてのグループ活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・副教材 ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施				10月 11月	第1節 三角形の性質 第2節 円の性質 第3節 作図 問題演習 【期末考査】	2 6 4 2 1					
知・技	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)			第3学期	12月 1月	第4節 空間図形 第3章 数学と人間の活動 第1節 数学と歴史・文化 問題演習	4 5 2						
	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができる。			B+	B-	定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。				2月 3月	問題演習 【期末考査】	5 1						
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組みることができていない。			総 時 間 数		66						
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身につけることができる。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。											
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。											
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができる。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数			
教科名	保健体育	履修形態	必修	学科	普通科															
科目名	体育(男)	単位数	2	学年	1年	●	●	●							第1学期	4月	01. オリエンテーション 02. 集団行動・体づくり運動 03. 新体力テスト(スポーツテスト)① (握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び)	1 1 4		
教科書・副教材・(発行所)																第2学期	5月	04. 高校生体操 01~05番 05. 高校生体操 06~10番 06. 実技テスト① 個人	1 1 1	
① 教科書:現代高等保健体育(大修館書店) ② 副教材:アクティブスポーツ Active Sports [総合版] 2022(大修館書店) ③ ④																	第3学期	6月	07. 高校生体操 11~16番 08. 高校生体操 01~16番(完)	1 2
学 習 の 重 点 目 標																		7月	09. 実技テスト② 個人 10. 実技テスト③ グループ 11. 実技テスト④ グループ 評価・反省	1 1 1
①各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、身体の調子を整え体力の向上を図る。 ②公正・協力・責任などの態度を育て、健康・安全に関心を持ち意欲的に取り組もうとする態度を養う。 ③自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高めるとともに、体力向上のために運動の合理的なおこない方を身につける。																	第4学期	8月	12. 新体力テスト(スポーツテスト)② (持久走・50m走・立ちとびハンドボール投げ)	4
評 価 の 基 準																第5学期		9月	13. 陸上(リレー)バトンタッチの技術 14. 記録 15. 陸上(砲丸投げ)投てきの技術 16. 記録 評価・反省	3 2 3 2
A(十分満足できる状況) B(概ね満足できる状況) C(努力を要する状況)																	第6学期	10月	17. 武道(礼法) 18. 武道(空手道)対人技術・対人技術 19. 実技テスト① 対人 Part.1 20. 実技テスト② 対人 Part.2 評価・反省	1 6 1 1
B+ B- C																第7学期		11月		
知・技 思・判・表 主体性・態度																	第8学期	12月	21. バレーボール(レシーブ・パス・サーブ) 22. 実技テスト① レシーブ 23. 実技テスト② レシーブ・パス 24. 実技テスト③ サーブ 25. ゲーム 評価・反省	4 1 1 1 2
実技テストと新体力テストの合計が80点上であり基本的な技術が習得できる。3学期のみ実技テストと定期考査。 実技テストと新体力テストの合計が55~79点である。3学期のみ実技テストと定期考査。 実技テストと新体力テストの合計が30~54点である。3学期のみ実技テストと定期考査。 実技テストと新体力テストの合計が30点上であり、基本的な技術や知識があまり理解できていない。3学期のみ実技テストと定期考査。																第9学期		1月	26. 体育理論(スポーツの発祥と発展) 27. 実技理論 (集団行動・新体力テスト・陸上・武道・バレーボール) 28. ★期末考査 評価・反省	3 3 1
グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。 グループ活動や課題となる運動技術の習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。 真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。 あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。 あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。															総 時 間 数		54			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数				
教科名	保健体育		履修形態	必修	学科	普通科	D	学	進	進	進	特	特	看	第1学期	オリエンテーション スポーツテスト①・高校生体操	1 6			
科目名	体育(女)		単位数	2	学年	1年	●	●	●											
教科書・副教材・(発行所)																				
① 教科書：現代高等保健体育(大修館書店) ② 副教材：アクティブスポーツ Active Sports [総合版] 2022(大修館書店) ③ ④																				
学 習 の 重 点 目 標																				
各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるとともに、体の調子を整え体力の向上を図る。 公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。																				
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度														
評価の趣旨	①競技ごとに実施する実技テストの出来具合 ②試合形式のゲームでの評価 ③定期考査の出来具合(3学期のみ)			①グループ活動への取り組み ゲームに向けての作戦や技術習得に向けたグループ活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②自己評価・振り返り 実技テストやゲームを行った際に振り返りを実施			第2学期										
	①競技ごとに実施する実技テストの出来具合 ②試合形式のゲームでの評価 ③定期考査の出来具合(3学期のみ)			①グループ活動への取り組み ゲームに向けての作戦や技術習得に向けたグループ活動を実施			①授業中の態度や意欲 ②自己評価・振り返り 実技テストやゲームを行った際に振り返りを実施													
評 価 の 基 準																				
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)														
			B+			B-														
知・技	実技テスト、定期考査(3学期のみ)の合計が80点以上であり、基本的な技術が習得できている。			実技テスト、定期考査(3学期のみ)の合計が55~79点である。			実技テスト、定期考査(3学期のみ)の合計が30~54点である。			第3学期										
	思・判・表	グループ活動や課題となる技術習得に積極的に取り組み、自分の考えを発言したり、適切に表現することができる。			グループ活動や課題となる技術習得に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。			グループ活動や課題となる技術習得にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度		応用的な技術にも積極的に取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。												
	技術習得に向けて粘り強く取り組み、グループ活動やゲームでは積極的に活動することができる。			真面目に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。													
振り返るべき内容をきちんと考えて取り組むことができ、次の練習にしっかり活かすことができている。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。														
総 時 間 数																14	10	3	1	55

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数				
教科名	保健体育	履修形態	必修	学科	普通科																
科目名	保健	単位数	2	学年	1年	●									第1学期	4月	◇オリエンテーション ◇現代社会と健康	1 3			
教科書・副教材・(発行所)																5月	01健康の考え方と成り立ち 02私たちの健康のすがた	3			
① 教科書：現代高等保健体育(大修館書店) ② 副教材：図説現代高等保健体育(大修館書店) ③ ④																	6月	☆中間考査	1		
学 習 の 重 点 目 標						個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。										7月		03生活習慣病の予防と回復 04がんの原因と予防 06運動と健康 07食事と健康	2 3 2 3		
知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度													第2学期	8月	08休養・睡眠と健康 09喫煙と健康 10飲酒と健康 11薬物乱用と健康	3 4 4 3
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問 ②小テストの出来具合 教科書の学習した内容について10分程度の小テストを実施		①課題レポートの内容 学期ごとに探求課題レポートを実施 ②グループ活動・発表の内容 探求課題などについてのグループ活動を実施			①授業態度や意欲 ②提出物の内容 プリント・ノート ③自己評価・振り返り 小テストや考査後に自己評価や振り返りを実施													9月	☆中間考査	1
	評 価 の 基 準																10月	15現代の感染症 16感染症の予防 17性感染症・エイズとその予防		3 3 3	
A (十分満足できる状況)		B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)													11月	◇生涯を通じる健康 02思春期と健康 ☆期末考査	4 1	
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上あり、基本から応用まで万遍なく理解することが出来ている。		定期考査と小テストの合計が55～79点である。			定期考査と小テストの合計が30～54点である。													12月	03性意識と性行動の選択 04妊娠・出産と健康	4 4
	探求的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することが出来ている。		探求的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することが出来ている。			探求的な課題やグループ活動にあまり取り組むことが出来ない。														1月	05避妊法と人工妊娠中絶 06結婚生活と健康
思・判・表	応用的な問題にも取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることが出来ている。		応用的な問題にも取り組み、ある程度の思考力や判断力が身に付けることが出来ている。			応用的な問題にあまり取り組むことが出来ない。													2月		☆期末考査
	授業の態度も意欲も積極的であり、提出物やノートなども自ら補足説明を加えるなど自分なりのものを作っている。グループ振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことが出来ている。		真面目に学習には取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。														3月	☆期末考査
主体性・態度	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことが出来ている。		振り返るべき内容を表現することは出来ているが、次の取り組みにはあまり生きていない。			振り返るべき内容をあまり考えることが出来ない。													総 時 間 数		65

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数		
教科名	保健体育	履修形態	必修	学科	普通科											学 習 内 容				
科目名	保健	単位数	2	学年	1年		●	●							第1学期	4月	★オリエンテーション ◇1単元 現代社会と健康	1		
																5月	01. 健康の考え方と成り立ち 02. 私たちの健康のすがた	2 2		
教科書・副教材・(発行所)																	★中間考査 評価・反省	1 1		
① 教科書：現代高等保健体育(大修館書店) ② 副教材：図説現代高等保健体育(大修館書店) ③ ④																	6月	15. 現代の感染症 16. 感染症の予防	3 2	
学 習 の 重 点 目 標																7月	17. 性感染症・エイズとその予防 ★期末考査 評価・反省	3 1 1		
①個人及び社会生活における健康・安全について理解を深める。 ②生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 ③社会の変化のなかで健康についての考え方をさらに深め、自らの日々の生活に、さらには今後の人生において、学んだことを役立てることを図る。																				
	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度									第2学期	8月	◇4単元 健康を支える環境づくり 09. 医薬品の制度とその活用	3		
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書・副教材の内容を中心に作問		①課題レポートの内容 単元の内容ごとにプリント学習を実施			①授業態度や意欲 ②提出物の内容 (学習プリント・課題プリント)											9月	◇1単元 現代社会と健康 03. 生活習慣病の予防と回復 04. がんの原因と予防 05. がんの治療と回復 ★中間考査	2 2 2 1	
	②小テスト(課題テスト)の出来具合 教科書の学習した内容について の小テスト(課題テスト)を実施		②グループ活動・発表の内容 探求課題などについてグループ活動を実施			③自己評価・振り返り 単元の内容や考査後に自己評価や振り返りを実施												10月	評価・反省 06. 運動と健康 07. 食事と健康	1 1
評 価 の 基 準																	11月	08. 休養・睡眠と健康 09. 喫煙と健康 10. 飲酒と健康 ★期末考査	1 4 4 1	
	A (十分満足できる状況)		B (概ね満足できる状況)		C (努力を要する状況)											第3学期	12月	11. 薬物乱用と健康 12. 精神疾患の特徴 13. 精神疾患の予防 14. 精神疾患からの回復	1 3 2 1	
知・技	定期考査と課題テストの合計得点が80点以上あり、基本から応用まで万遍なく理解することが出来ている。		定期考査と課題テストの合計が55～79点である。		定期考査と課題テストの合計が30～54点である。													1月	◇3単元 生涯を通じる健康 01. ライフステージと健康 02. 思春期と健康 03. 性意識と性行動の選択 ★期末考査	1 2 2 1
	探求的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを发表或し、適切に表現することが出来ている。		探求的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することが出来ている。		探求的な課題やグループ活動にあまり取り組むことが出来ていない。														2月	評価・反省
思・判・表	応用的な問題にも取り組み、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることが出来ている。		応用的な問題にも取り組み、ある程度の思考力や判断力が身に付けることが出来ている。		応用的な問題にあまり取り組むことが出来ていない。													3月	★期末考査 評価・反省	1
	授業の態度も意欲も積極的であり、提出物やなども自ら補足説明を加えるなど自分なりのものを作っている。グループ活動も振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことが出来ている。		真面目に学習には取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。		あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。															
主体性・態度	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことが出来ている。		振り返るべき内容を表現することは出来ているが、次の取り組みにはあまり生きていない。		振り返るべき内容をあまり考えることが出来ていない。															
															総 時 間 数		55			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数			
教科名	芸術		履修形態	選択必修	学科	普通科	D	学	進	進	特	特	看	第1学期	4月 5月	歌唱…歌唱①校歌他（ポピュラー） 器楽…リコーダー①基礎 楽典…音楽理論①	6		
科目名	音楽Ⅰ		単位数	2	学年	1年	●	●	●										
教科書・副教材・(発行所)																			
① MOUSAI ② 音楽の研究ノート ③ ワークプリント ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
音楽の幅広い活動を通じて、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。																			
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度							
評価の趣旨	曲想と音楽の構造か歌詞、文化的・歴史的背景などの関わりと音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能や知識が身についているか評価する。【実技試験】【定期試験】						自己のイメージをを持って音楽表現や創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことが出来ているか評価する。【レポート】【実技試験】						主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとする態度について評価する。【レポート】【授業態度】						
	評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)						
							B+			B-									
知・技	基本的な知識や技能が十分に身についており、高い理解力がある。						基本的な知識や技能が概ね身についている。			基本的な知識や技能がある程度身についている。			基礎的な知識や技能、理解力が不足しており、実技発表に反映できていない。						
思・判・表	演奏方法を工夫しながら知識や技術を十分に身につけることができている。						演奏方法を工夫しながら知識や技術のある程度身につけることができている。						演奏発表をきちんと行うことができず、知識や技術を身につけることができている。						
	楽譜等の教材にあるさまざまな情報から積極性の高い演奏表現や鑑賞表現ができている。						楽譜等の教材にあるさまざまな情報から、ある程度の演奏表現や鑑賞表現ができている。						教材にあるさまざまな情報を読み取ることができず、演奏表現や鑑賞表現ができている。						
主体性・態度	積極的に楽曲鑑賞に取り組む姿勢が見られる。						楽曲鑑賞にある程度取り組む姿勢が見られる。						楽曲鑑賞に取り組もうとする姿勢が見られない。						
	積極的に楽曲演奏・創作活動に取り組む姿勢が見られる。						楽曲演奏・創作活動にある程度取り組む姿勢が見られる。						楽曲演奏・創作活動に取り組もうとする姿勢が見られない。						
																総 時 間 数	58		
																第2学期	8月 9月	歌唱…歌唱③（心の歌） 鑑賞…舞台芸術に触れよう②（能楽・歌舞伎） 音楽史① 器楽…リコーダー②デュエット 楽典…音楽理論②	14
																第2学期	10月 11月	歌唱…歌唱④（合唱） 鑑賞…世界の民族音楽 器楽…リコーダー③デュエット 楽典…音楽理論③ 実技テスト 筆記試験	14
																第3学期	12月 1月	創作…作曲 グループ発表 楽典…音楽理論④ 実技テスト 筆記試験	13
																第3学期	2月 3月	課題レポート（1年間のまとめ）	1

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	芸術		履修形態	選択必修	学科	普通科	D	学	進	文	理	文	理	護				
科目名	書道 I		単位数	2	学年	1年	●	●	●									
教科書・副教材・(発行所)																		
① 書 I (38光村・書 I 701)																		
②																		
③																		
④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。																		
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度						
評価の趣旨	①毎時間、作品の提出によって完成度を評価する						①作品の独創的表現力によって評価する						①授業中の態度					
	②小テストによって評価する						②作品の価値と根拠をよく考え書の良さや美しさを味和わって捉えているか評価する						②学習意欲					
												③提出物・忘れ物等						
評 価 の 基 準																		
A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)						
																		B+
知・技	作品創作のための技能・知識正確に理解し十二分に身に付けている。						ほぼ理解し概ね身に付けている。			理解しようとしているがあまり身に付けていない。			理解しようとはせずほとんど身に付けていない					
思・判・表	創造的な構想や表現が意図的に基づいてよく工夫し表現することが十二分にできている。						創造的な構想や表現が概ねできている。						創造的な構想や表現があまりできていない。					
	書に対する見方、考え方、捉え方をよく考察し述べるができる。						概ね自分の見方、考え方、捉え方を述べるができる。						書に対する自分の考え方・捉え方ができていない。					
主体性・態度	積極的に与えられた課題や作品創作に取り組んでいる。						作品創作において、積極的に取り組もうとしている。						作品創作に全く取り組んでいない。					
	積極的に鑑賞の各活動に取り組んでいる。						鑑賞の各活動に積極的にと取り組もうとしている。						鑑賞の各活動に取り組んでいない。					
総 時 間 数																61		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時数					
教科名	芸術		履修形態	選択必修	学科	普通科	D	学	進	文	理	文	理	護	第1学期	4月～5月 【絵画】スケッチ 【デザイン】作品応募 【デザイン】文字のデザイン	6				
科目名	美術I		単位数	2	学年	1年	●	●	●												
教科書・副教材・(発行所)																					
① 高校美術1 (38-光村・美I-701) ② ③ ④																					
学 習 の 重 点 目 標																					
美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。																					
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度									
評価の趣旨	①作品の出来具合によって評価する(作品完成度) ②レポートの出来具合によって評価する						①作品の表現力によって評価する(独創的・オリジナリティ) ②作品制作の進捗具合によって評価する						①授業態度(教師の観察) ②学習意欲(制作進捗度合い) ③提出物等						第2学期	8月～9月 【絵画】スケッチ 【デザイン】線の模様	14
	評 価 の 基 準																				
A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)									
知・技	基本的な知識や技術が十分に理解できており、作品を作ることができる。						B+			B-			基本的な知識や技術、理解力が不足し、作品を作ることができていない。						第3学期	10月～11月 【絵画】スケッチ 【工芸】連続する模様 【デザイン】デジタル練習2 【課題】レポート	14
							基本的な知識や技術が程度理解できており、作品を作ることができる。			基本的な知識や技術がある程度理解できており、作品を作ることができる。											
思・判・表	作品を計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができる。						作品をある程度、計画的に考えながら制作し、知識や技術を身に付けることができる。						作品を計画的に制作することができず、知識や技術を身に付けることができていない。						12月～1月 【絵画】スケッチ 【工芸】切り絵 【デザイン】ポートフォリオ	13	
	自分の考えを独創的・オリジナリティをいかして表現することができる。						自分の考えをある程度、表現することができる。						自分の考えを思い通りに表現することができていない。								
主体性・態度	積極的に鑑賞の創造活動を進んで取り組もうとしている。						鑑賞の創造活動にある程度、取り組もうとしている。						鑑賞の創造活動に取り組もうとしていない。						2月～3月 【課題】レポート	1	
	積極的に作品作りを進んで取り組んでいる。						制作において、積極性を要する部分がある。						前向きな気持ちで制作に取り組めていない。								
																総 時 間 数	58				

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	外国語【英語】	履修形態	必修	学科	普通科													
科目名	英語コミュニケーションⅠ	単位数	4	学年	1年	●									第1学期	4月 5月	Lesson 1 Colors of Spring Lesson 2 Dick Bruna	
教科書・副教材・(発行所)																		
① VISTA English Communication I (三省堂) ② VISTA English Communication I WORKBOOK (三省堂) ③ 英単語ターゲット1200 ④ 英単語ターゲット1200 Workbook1																		
学 習 の 重 点 目 標																		
基本的な英単語、英文法を理解する。外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、自分の意見や考えを表現し、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。																		
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。			課題や提出物の出来具合により評価する。			日常の学習態度、ALTとの英会話やペアワークでの積極的な活動などを評価する。											
評 価 の 基 準																		
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)											
			B+		B-													
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。										
思・判・表	課題や提出物にも計画的に取り組む、適切に表現し理解することができている。			課題や提出物にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。				課題や提出物にあまり取り組むことができていない。										
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。振り返るべき内容を表現することが十分できている。			真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				真面目に学習に取り組むことができない。振り返るべき内容をあまり考えることができていない。										
															第2学期	8月 9月	Lesson 5 We Are Part of Nature Lesson 6 Machu Picchu	
															第3学期	10月 11月	Lesson 7 Artificial Intelligence Lesson 8 Is There a Santa Claus?	
															第3学期	12月 1月	Lesson 9 Kids' Guernica	
															第3学期	2月 3月	Lesson 10 Ethical Fashion	
総 時 間 数																0		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	外国語【英語】	履修形態	必修	学科	普通科													
科目名	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3	学年	1年		●								第1学期	Lesson 1 Enjoy Your Journey! Lesson 2 Curry Travels around the World	9	
教科書・副教材・(発行所)																		
① LANDMARK Fit English Communication I (啓林館)																		
② LANDMARK Fit English Communication I WORKBOOK (啓林館)																		
③ 英単語ターゲット1400 (旺文社)																		
④ 英単語ターゲット1400 Workbook① (旺文社)																		
学 習 の 重 点 目 標																		
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを旨とする。																		
知識・技能						思考・判断・表現						主体的に学習に取り組む態度						
評価の趣旨	各学期毎に、原則として中間・期末考査を実施し、その得点で評価を行う。試験問題は、授業で学習した内容を中心に出題する。						ALTとの英会話やペアワークでの積極的な活動、英作文の仕上がりをなどを評価する。						日常の学習態度、出席状況、課題や提出物、小テストの出来具合により評価を行う。					
	評 価 の 基 準																	
A (十分満足できる状況)						B (概ね満足できる状況)						C (努力を要する状況)						
						B+			B-									
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。						定期考査と小テストの合計得点が55～79点である。			定期考査と小テストの合計得点が30～54点である。			定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。					
	思・判・表	英会話やペアワーク活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。						英会話やペアワーク活動に取り組む、ある程度自分の考えを述べたり表現することができている。						英会話やペアワーク活動にあまり取り組むことができていない。				
英作文や応用的な問題にも計画的に取り組む、適切に表現し理解することができている。						英作文や応用的な問題にも取り組み、ある程度表現し理解することができている。						英作文や応用的な問題にあまり取り組むことができていない。						
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができている。						真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。						あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。					
	振り返るべき内容をきちんと考えて表現することができ、次の取り組みにしっかり活かすことができている。						振り返るべき内容を表現することができているが、次の取り組みにあまり活かしていない。						振り返るべき内容をあまり考えることができていない。					
総 時 間 数																86		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	外国語【英語】	履修形態	必修	学科	普通科													
科目名	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3	学年	1年			●							第1学期	Introduction	1	
																4月	Lesson 1 Enjoy Your Journey!	8
																5月	Lesson 2 Curry Travels around the World	4
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：LANDMARK English Communication I (啓林館)																		
② 問題集：LANDMARK English Communication I ワークブック (啓林館)																		
③ 副教材：改訂第2版 キクタン【Basic】4000 語レベル (アルク)																		
④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。																		
(1) 聞くこと (2) 読むこと (3) 話すこと [やり取り] (4) 話すこと [発表] (5) 書くこと																		
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度									
評価の趣旨	①定期考査の得点 (教科書および副教材、単語帳の内容を中心に作問)				①グループ・ペア活動の内容 (テーマのもと、英語で自分の考えを表現する活動を毎週実施)				①授業中の態度・意欲									
	②小テストの得点 (単語帳の内容に関して毎週10分間の小テストを実施)				②探求 課題レポートの内容 (2単元毎に探求活動を行い、レポート課題を実施)				②提出物の状況 (問題集)									
評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)									
					B+		B-											
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで万遍なく理解することができている。				定期テストと小テストの合計得点が55~79点である。		定期テストと小テストの合計得点が30~54点である。		定期考査と小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。									
思・判・表	探求的な課題やグループ・ペア活動に積極的に取り組み、自分自身の考えを発表したり、適切に表現できている。				探求的な課題やグループ・ペア活動に積極的に取り組み、ある程度自分自身の考えを述べたり、適切に表現できている。				探求的な課題やグループ・ペア活動にあまり取り組むことができていない。									
	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。				日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。				日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。									
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。				グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。				コミュニケーションを取ることができていない。									
	粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。				概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。				あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。									
総 時 間 数																		
																	95	

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数		
教科名	外国語【英語】	履修形態	必修	学科	普通科														
科目名	論理・表現 I	単位数	2	学年	1年		●	●							第 1 学期	Lesson1 I want to introduce my new friends. Lesson2 Do you want to join our show? ★中間考査 Lesson3 I'm planning a day trip this weekend. Lesson4 Have you ever tried it before? ★期末考査			
教科書・副教材・(発行所)																			
① Vision Quest English Logic and Expression I Standard (啓林館) ② 教科書準拠ワークブック (啓林館) ③ ④																			
学 習 の 重 点 目 標																			
「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。																			
	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度												
評価の趣旨	外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。外国語の技能(話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。			場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。			他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。												
	評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)												
				B+		B-													
知・技	定期考査と小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用まで理解することができている。			定期考査と小テストの合計得点が55~79点である。		定期考査と小テストの合計得点が30~54点である。	定期考査と小テストの合計が30点未満であり、基本的知識や概念があまり理解できていない。												
思・判・表	日常や社会的な話題について英語を通して十分に理解し、自分自身の考えをしっかりとまとめることができている。			日常や社会的な話題について英語を通してある程度理解し、自分自身の考えをまとめることができている。			日常や社会的な話題について英語を通して理解することができていない。												
	探求的な課題やグループ・ペア活動に積極的に取り組み、自分自身の考えを発表したり、適切に表現できている。			探求的な課題やグループ・ペア活動に取り組み、ある程度自分自身の考えを述べたり、適切に表現できている。			探求的な課題やグループ・ペア活動にあまり取り組むことができていない。												
主体性・態度	グループ・ペア活動において相手に配慮しながら、積極的に発言することができる。			グループ・ペア活動において相手への配慮はできているが、もう少し積極性を要する部分がある。			コミュニケーションを取ることができていない。												
	粘り強く学習し、前向きな姿勢で学習に取り組んでいる。			概ね良い姿勢で学習に取り組んでいる。			あまり前向きな姿勢で学習に取り組めていない。												
															第 2 学期	8月 9月	Lesson5 What do you want to do after school? Lesson6 Did you hear about the new shop? ★中間考査		
															第 3 学期	10月 11月	Lesson7 I'm happy to have you with us. Lesson8 What sport do you like playing? Lesson9 Digital media has come a long way. ★期末考査		
															第 1 学期	12月 1月	Lesson10 That's why I decided to go back. Lesson11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?		
															第 2 学期	2月 3月	Lesson12 I think it's a good idea. ★期末考査		
															総 時 間 数		0		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	進	特	進	進	特	特	看	学期	学 習 内 容	時
教科名	家庭		履修形態	必修	学科	普通科	D	学	進	進	特	特	看	第1学期	第1章 生涯を見通す	
科目名	家庭基礎		単位数	2	学年	1年	●	●							4月 5月	
教科書・副教材・(発行所)																
① 教科書：家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)																
②																
③																
④																
学 習 の 重 点 目 標																
<p>生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係わる技能を身につけるようにする。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>																
知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度					第2学期	★期末考査		
評価の趣旨	①定期考査の出来具合 教科書の内容を中心に作問			①課題レポートの内容 単元毎に探究課題レポートを実施			①授業中の態度や意欲					8月 9月		第5章 共に生き、共に支える		
	②作品または小テストの出来具合			②グループ活動・発表の内容 練習問題や探究課題についてのグループ活動を実施			②提出物の内容 プリント						第6章 食生活をつくる			
評 価 の 基 準																
A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)					第3学期	10月 11月	第7章 衣生活をつくる 被服実習	1
				B+		B-										
知・技	定期考査と作品または小テストの合計得点が80点以上であり、基本から応用までまんべんなく理解することができている。			定期考査と作品または小テストの合計得点が55～79点である。		定期考査と作品または小テストの合計得点が30～54点である。		定期考査と作品または小テストの合計得点が30点未満であり、基本的な知識や概念があまり理解できていない。					12月 1月	★期末考査		
	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができている。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができている。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことが出来ていない。		探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。								
思・判・表	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身につけることができています。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。									2月 3月	★期末考査		
	課題の解決に向けて粘り強く取り組み、グループ活動においても積極的に発言することができる。			課題の解決に真面目に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				課題の解決にあまり前向きな気持ちで取り組めていない。								
主体性・態度	自分や家庭、地域の生活の充実向上につながる活動だったかを考え表現し、次の活動に活かすことができる。			自分や家庭、地域の生活の充実向上につながる活動だったかを考えることはできているがうまく表現できていない。									総 時 間 数			6

評 価 反 省 記 録

授 業 担 当 者										評 価 ・ 反 省 ・ 展 望														
職 名		氏 名				職 名		氏 名				第 1 学 期												
		Ⓜ						Ⓜ																
		Ⓜ						Ⓜ																
		Ⓜ						Ⓜ																
		Ⓜ						Ⓜ																
		Ⓜ						Ⓜ																
クラス	計 画 時 間 数				実 施 時 間 数				Ⓜ平均点・Ⓜ評定平均値				第 2 学 期											
第 1 学 期	授業																							
	中間																							
	授業									コース平均														
	期末																							
	合計																							
第 2 学 期	授業																							
	中間																							
	授業									コース平均														
	期末																							
	合計																							
第 3 学 期	授業																							
	期末									コース平均														
	合計																							
年 間 合 計	授業																							
	考査									コース平均														
	合計																							

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	情報	履修形態	必修	学科	普通科											学 期	学 習 内 容	
科目名	情報 I	単位数	2	学年	1年	●	●								第 1 学期	第1章 情報で問題を解決する (情報モラル 著作権)	2	4月 5月
																パソコンの基本的な操作	2	
																ワープロソフトの操作	2	
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：新編 情報 I (東京書籍 情 I 701)																		
② 副教材：新編 情報 I 資料ノート (東京書籍)																		
③																		
④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
1. 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。																		
2. 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。																		
3. 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。																		
	知識・技能				思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度									
評 価 の 趣 旨	1. 期末考査にて測る				1. 単元ごとの実技を含めた課題レポートにて測る				1. 授業中の様子				第 2 学期	8月 9月	第3章 コンピューターを活用する (アルゴリズム プログラミング)		6	
	2. 単元ごとに実技テストを実施				2. 授業中にてグループ活動での振り返り用紙にて測る				2. 提出物の提出率とその内容 3. 実技課題の取り組みやグループ活動での振り返り用紙の内容						表計算ソフトの基本的な操作方法		6	
評 価 の 基 準																		
	A (十分満足できる状況)				B (概ね満足できる状況)				C (努力を要する状況)									
					B+		B-											
知・技	期末考査と単元ごとの実技テストを100点満点に換算した合計得点が80点以上である。基本から応用まで知識と技能が習得できている。				期末考査と実技テストの合計得点が55~79点である。		期末考査と実技テストの合計得点が30~54点である。		期末考査と実技テストの合計得点が30点未満である。基本的な知識や技能が習得できていない。				第 3 学期	10月 11月	第4章 データを活用する (インターネットの仕組み データ分析)		8	
																	表計算ソフトを活用し表現する 実技テスト (表計算ソフト)	
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。				探究的な課題やグループ活動に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。				探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。				第 3 学期	12月 1月	第5章 活動して提案する		4	
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。				応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけている。				応用的な問題にあまり取り組むことができていない。思考力や判断力が身につけていない。								プレゼンテーションソフトの基本的な操作	
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。				真面目に学習に取り組んではいるが、もう少し積極性を要する部分がある。				あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。積極性も不十分である。				第 3 学期	2月 3月	プレゼンテーションソフトを活用して伝える 実技テスト (プレゼンテーション)		4 4	
	振り返るべき内容を考えて的確に表現でき、次の取り組みに有効に活かすことができる。				振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。				振り返るべき内容をあまり考えることができていない。								★期末考査	
総 時 間 数																64		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容		時数
教科名	情報	履修形態	必修	学科	普通科											学 習 内 容		
科目名	情報 I	単位数	2	学年	1年			●							第 1 学期	4月	第1章 情報社会 (著作権 知的財産権 産業財産権) パソコンの基本的な操作 ワープロソフトの操作	2 2 2
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：高校情報 I Python (実教出版 情 I 703)																		
② 副教材：高校情報 I 学習ノート (実教出版)																		
③																		
④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
1. 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。																		
2. 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。																		
3. 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。																		
評価の趣旨	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度											
	1. 期末考査にて測る 2. 単元ごとに実技テストを実施			1. 単元ごとの実技を含めた課題レポートにて測る 2. 授業中にてグループ活動での振り返り用紙にて測る			1. 授業中の様子 2. 提出物の提出率とその内容 3. 実技課題の取り組みやグループ活動での振り返り用紙の内容											
評 価 の 基 準																		
A (十分満足できる状況)			B (概ね満足できる状況)			C (努力を要する状況)												
			B+		B-													
知・技	期末考査と単元ごとの実技テストを100点満点に換算した合計得点が80点以上である。基本から応用まで知識と技能が習得できている。			期末考査と実技テストの合計得点が55～79点である。		期末考査と実技テストの合計得点が30～54点である。		期末考査と実技テストの合計得点が30点未満である。基本的な知識や技能が習得できていない。										
思・判・表	探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、自分の考えを発表したり、適切に表現することができる。			探究的な課題やグループ活動に積極的に取り組み、ある程度自分の考えを述べたり、表現することができる。			探究的な課題やグループ活動にあまり取り組むことができていない。											
	応用的な問題にも計画的に取り組む、論理的な思考力や的確な判断力を身に付けることができる。			応用的な問題に取り組む、ある程度の思考力や判断力が身につけてきている。			応用的な問題にあまり取り組むことができていない。思考力や判断力が身につけていない。											
主体性・態度	予習・復習をして粘り強く学習に取り組む、グループ活動においても積極的に発言することができる。			真面目に学習に取り組んでいるが、もう少し積極性を要する部分がある。			あまり前向きな気持ちで学習に取り組めていない。積極性も不十分である。											
	振り返るべき内容を考えて的確に表現でき、次の取り組みに有用的に活かすことができる。			振り返るべき内容を表現することはできているが、次の取り組みにあまり活かしていない。			振り返るべき内容をあまり考えることができていない。											
総 時 間 数																		
★期末考査																		
総 時 間 数																		
57																		

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数									
教科名	総合的な探究の時間	履修形態	必修	学科	普通科																					
科目名		単位数	1	学年	1年	●									第1学期	4月 ～ 5月	総合的な探究の時間ガイダンス	1								
教科書・副教材・(発行所)																										
① 探究ナビBasic・ベネッセ ② 探究活動の進め方・マイナビ ③ ④																	3									
学 習 の 重 点 目 標																										
横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。																	5									
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																										
知識・技能	地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域や社会の特徴や良さに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることの気付いている。																5									
	思考・判断・表現	地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身につけている。																7								
主体性・態度		地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。																2								
	第2学期																	8月 ～ 9月	第3学期	12月 ～ 1月	第1学期	6月 ～ 7月	第2学期	10月 ～ 11月	第3学期	2月 ～ 3月
総 時 間 数																	27									

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数			
教科名	総合的な探究の時間	履修形態	必修	学科	普通科															
科目名		単位数	1	学年	1年		●								第1学期	4月 5月	総合探究ガイダンス Unit 1 問いの立て方を知る	4		
教科書・副教材・(発行所)																第2学期	6月 7月	Unit 2 課題を特定する視野を得る Unit 3 課題解決方法を知る	5	
① Locus Program (マイナビ) ② ③ ④																	第3学期	8月 9月	Unit 4 事例から情報を集め表現する	4
学 習 の 重 点 目 標																		10月 11月	Unit 5 複数事例から学び表現する Unit 6 教科の学びを活用する	8
横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。															12月 1月			Unit 7 理想の地域の実現案をつくる	4	
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点															第3学期	2月 3月		Unit 8 地域と自分の未来を描く プレゼンテーション	2	
知識・技能	地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、地域や社会の特徴や良さに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気づいている。															総 時 間 数		27		
思考・判断・表現	地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身につけている。																			
主体性・態度	地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとしている。																			

学 習 指 導 計 画 ・ 年 間 授 業 計 画

教科・科目・履修形態・単位数・学科・学年・コース						C	D	進学	特進	進文	進理	特文	特理	看護	学期	学 習 内 容	時数	
教科名	総合的な探究の時間	履修形態	必修	学科	普通科													
科目名		単位数	1	学年	1年			●							第1学期	4月 5月	序章：課題研究を始める前に 1章：研究テーマを決めよう ○研究テーマの決定	2 3
教科書・副教材・(発行所)																		
① 教科書：課題探究メソッド（啓林館） ② 副教材：課題探究ノート（啓林館） ③ ④																		
学 習 の 重 点 目 標																		
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。また、探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。																		
評 価 の 趣 旨 ・ 観 点																		
知識・技能	課題研究の各段階における手法，論文の作成・執筆方法，様々なプレゼンテーション方法やその技法について，各段階での提出物の完成度や，調査・実験などの取り組みなどを見て総合的に評価する。														第2学期	8月 9月	2章：リサーチクションを導こう ○先行研究について 3章：仮説を立て、適切な研究方法を選ぼう ○仮説立て	3 1
	思考・判断・表現	自ら見つけた研究課題に向き合って解決していく過程や，まわりの人々と協力して解決の糸口を見つけていく力などについて，授業中のディスカッションや発表への参与態度や内容に加え，各段階で作成された提出物や研究論文，プレゼンテーションなども含めて総合的に判断する。														第3学期	10月 11月	3章：仮説を立て、適切な研究方法を選ぼう ○仮説立て ○調査・実験の実施方法について ○研究を進める上での注意
主体性・態度		授業中の意欲や取り組む姿勢，課題への取り組み姿勢などに加え，課題研究を進めていく際のスケジュール調整力や，多方面への働きかけ方などを各段階で見て，総合的・多角的に評価する。また、長期休業中などの実験や研究論文の執筆，プレゼンテーションの準備などに取り組む姿勢も含めて評価する。															第3学期	12月 1月
															第3学期	2月 3月		中間報告 ○報告・発表会
総 時 間 数																28		